

令和5年度 広島県病害虫発生予察情報 予報第1号 (果樹)

令和5年5月12日発表 (対象期間: 令和5年5月12日~6月中旬)

●PCでアクセス

ひろしま病害虫情報

掲載アドレス↓
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/byogaichu/>



●スマホでアクセス

ひろしま病害虫情報
QRコードはこちら →



お問い合わせ先

広島県西部農業技術指導所 植物防疫チーム
〒739-0151 東広島市八本松町原6869
電話: 082-420-9662 (直通)

※次回の予報発表は令和5年6月中旬ごろです。

1- (1)

かんきつ病害虫の現況と予報 (概要)

病害虫名	現況	予報	防除上の注意事項
かいよう病			<ul style="list-style-type: none"> ●細菌病であり、風雨によって伝染するため、今後の気候には注意しましょう。 ●伝染源となる罹病葉、枝は速やかに除去し、ほ場から持ち出します。 ●5月下旬から6月上旬にかけて、銅剤による防除を行います。ただし、樹勢が著しく低下している場合は散布を控えます。
そうか病			<ul style="list-style-type: none"> ●発病した葉や枝を速やかに除去し、ほ場から持ち出します。 ●発生園では、落花直後の防除を行います。
ミカンハダニ			<ul style="list-style-type: none"> ●梅雨明け後の多発を予防するため、6月中下旬に高度精製マシン油乳剤を散布します。 ●冬季または春季にマシン油乳剤散布を行っていないほ場、前年発生が多かったほ場では発生に注意します。
ナシマルカイガラムシ イセリヤカイガラムシ			<ul style="list-style-type: none"> ●樹幹内部の主枝、側枝にもしっかりと農薬がかかるように散布します。 ●6月中下旬に防除を行います。
ルビーロウムシ ツノロウムシ			<ul style="list-style-type: none"> ●7月中下旬に防除を行います。
アブラムシ類			<ul style="list-style-type: none"> ●開花期防除を徹底します。 ●発生が多い場合は、薬剤抵抗性に留意して、追加防除を行います。

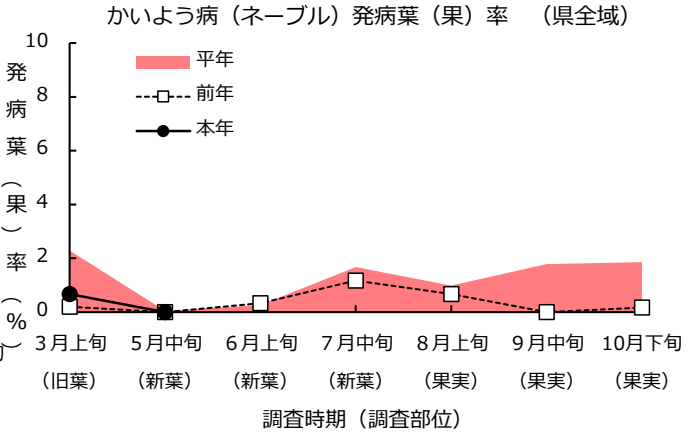
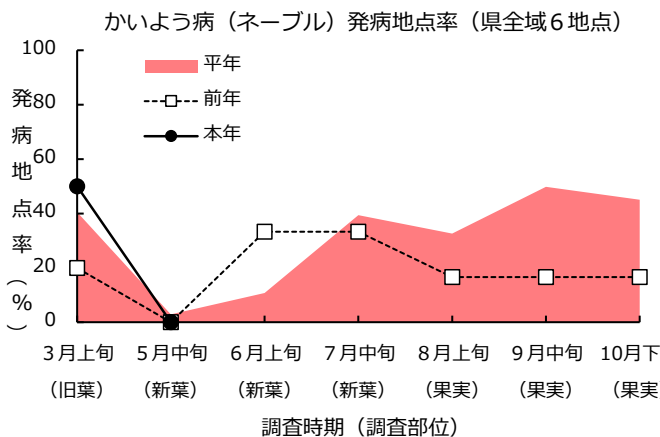
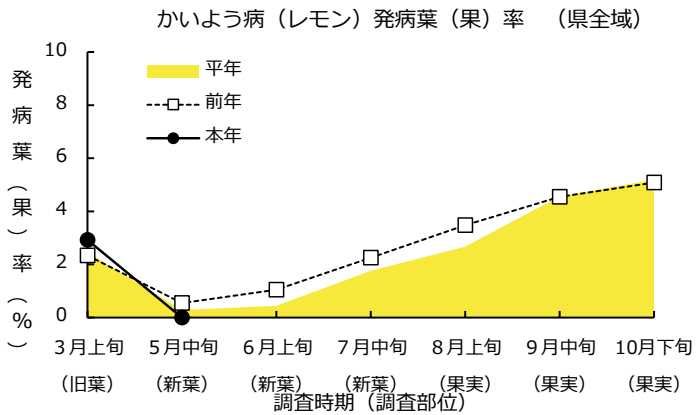
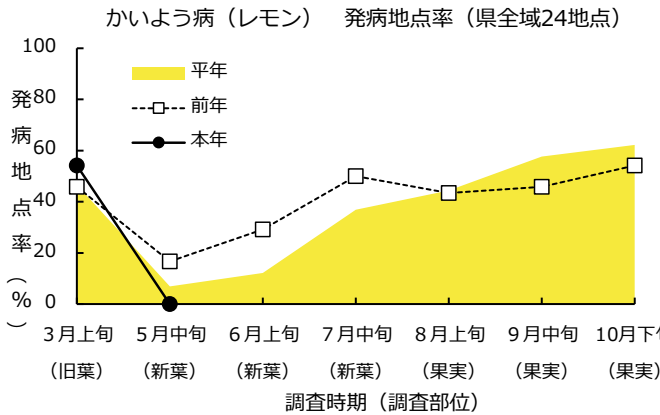
①かいよう病		現況	少	予報	少
予報の根拠	<ul style="list-style-type: none"> ●巡回調査では、レモン新葉で発生地点率は0% (平年6.9%)、発病葉率は0% (平年0.3%) であり、発生地点率、発病葉率ともに平年より低い発生でした (-)。 ●巡回調査では、ネーブル新葉で発生地点率は0% (平年2.9%)、発病葉率0% (平年0.05%) であり、発生地点率、発病葉率ともに平年より低い発生でした (-)。 ●向こう1か月の気温は平年並の確率が40% (±)、降水量は平年並の確率が40% です (±)。 				
(+) : 多発要因 (±) : 平年並 (-) : 少発要因					

【防除上の注意事項】

- 細菌病であり、風雨によって伝染するため、今後の気候には注意しましょう。
- 伝染源となる発病した葉や枝は樹上から除去し、ほ場外に持ち出します。
- 5月下旬から6月下旬にかけて銅剤による防除を行います。寒波被害等により著しく樹勢が低下している場合は散布を控えます。
- 高度精製マシン油乳剤との散布間隔は14日以上あけます。
- マンネブ剤、マンゼブ剤とは混用せず、これらの剤との散布間隔は7日以上あけます。
- 無機銅剤 (コサイド剤など) の散布を行う際は、クレフノン (希釈倍数 : 200倍) を加用します。



【巡回調査データ】



②ミカンハダニ

現況

やや多

予報

やや多

予報の根拠

(+) :多発要因
(±) : 平年並
(-) :少発要因

- 巡回調査では、発生地点率は40.0% (平年23.0%)、寄生葉率は6.0% (平年2.7%) で、発生地点率、寄生葉率ともに平年より高い発生でした (+)。
- 向こう1か月の気温は平年並の確率が40% (±)、降水量は平年並の確率が40%です (±)。

【防除上の注意事項】

- 梅雨明け後の多発を予防するため、6月中下旬に高度精製マシン油乳剤を散布します。
- 冬季または春季にマシン油乳剤散布を行っていないほ場、前年発生が多かったほ場では発生に注意します。



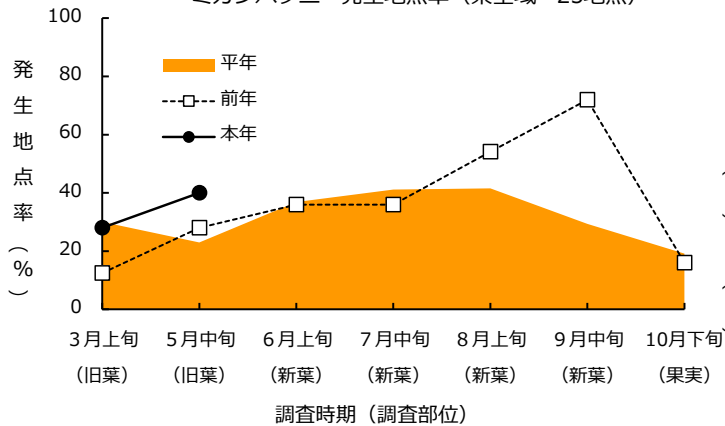
雌成虫
(体長0.5mm程度)



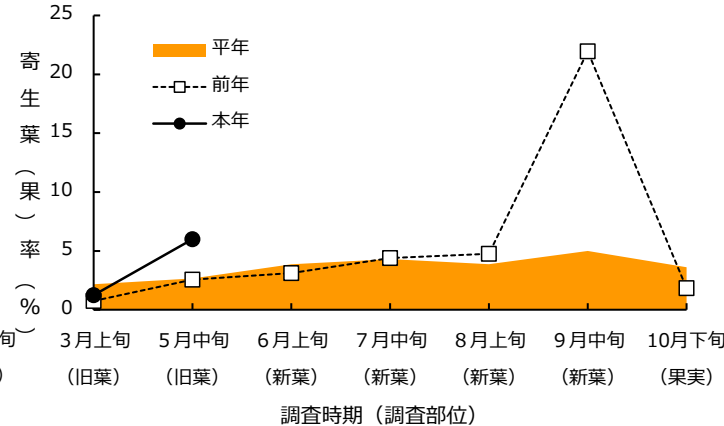
葉のかすり症状

【巡回調査データ】

ミカンハダニ 発生地点率 (県全域 25地点)



ミカンハダニ 寄生葉率 (県全域)



【マシン油乳剤について】

- マシン油乳剤とは？
 - ・機械油と乳化剤を混合したものです。
 - ・気門を封鎖し、害虫を死滅させる (気門封鎖系) 物理的防除であるため、抵抗性が発達したハダニにも有効です。
- 散布時の注意点
 - ・使用前に必ず製品ラベルをよく読み、倍率や使用時期を守りましょう。
 - ・調製した薬液は速やかに散布し、使い切りましょう。
 - ・水和剤やアルカリ性薬剤、銅剤との混用は避けましょう。
 - ・高温時の散布については、薬害を生じる恐れがあるため、散布は朝夕の比較的涼しい時間帯に実施しましょう。

①果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ）

現況

並

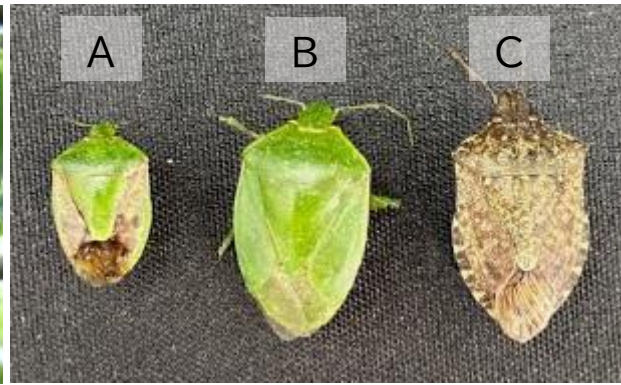
予報

並

予報の根拠

(+) : 多発要因
 (±) : 平年並
 (-) : 少発要因

●令和4年12月19日～令和5年2月2日に行ったチャバネアオカメムシ越冬量調査の結果、捕獲地点率は16.7%（図1）、平均虫数は0.17頭/地点（図2）で、過去10年と比較して平年並の越冬量でした（±）。
 ※10月末までフェロモントラップ調査データを、ひろしま病害虫情報に公開するので、防除対策の参考にしてください。



A : チャバネアオカメムシ
 B : ツヤアオカメムシ
 C : クサギカメムシ

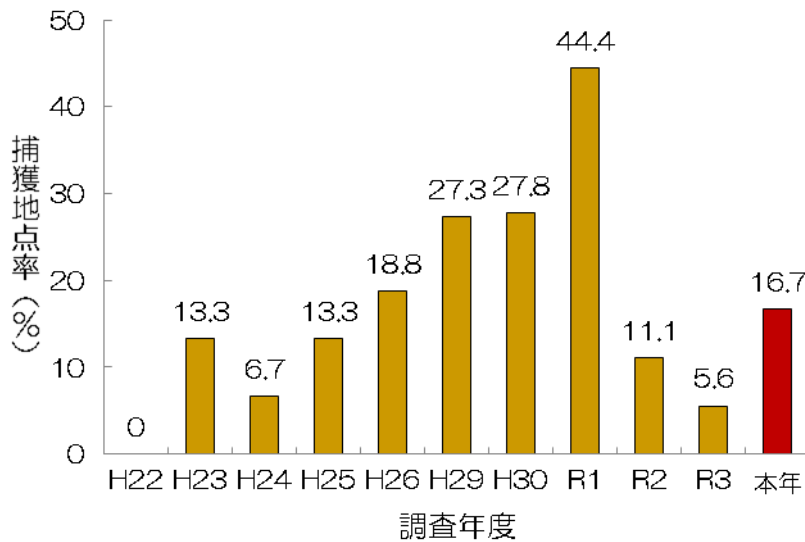


図1. チャバネアオカメムシの捕獲地点率

※H27、H28は調査地点数が少ないためデータから除外した。

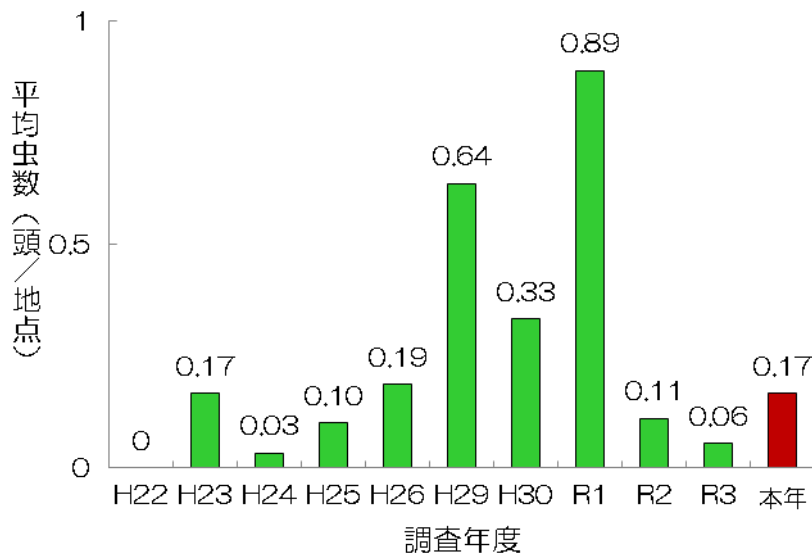


図2. チャバネアオカメムシの平均虫数

※H27、H28は調査地点数が少ないためデータから除外した。

②チャノキイロアザミウマ成虫発生予測



果梗部のリング状被害

チャノキイロアザミウマ
(体長0.8mm程度)

●チャノキイロアザミウマは、主に防風樹として利用されているイヌマキやサングジュなどが発生源となり、果樹園に飛来します。この虫に果皮を加害されると外観が著しく悪くなります。

●チャノキイロアザミウマは、気温の推移から成虫の発生が多くなる時期（発生ピーク）を予測することが可能です。防除適期は、発生ピークの7日前からピーク当日です。

※ 表1を参考に、発生ピーク予測日に合わせた防除を行ってください。

表1 チャノキイロアザミウマ成虫発生ピーク予測日

今後の気温	発生ピーク予測日	
	第1世代	第2世代
平年より高い (+1℃)	5月21日	6月17日
平年並	5月22日	6月20日
平年より低い (-1℃)	5月24日	6月23日

※生口島アメダスデータに基づく

中国地方1か月予報

(広島地方気象台5月11日発表, 5月13日から6月12日までの天候見通し)

- 天気は数日の周期で変わるでしょう。
- 向こう1か月の平均気温、降水量ともに、平年並の確率が40%です。日照時間は平年より多い確率が40%です(図3)。
- 週別の気温は、平年並の確率が1週目は50%、2週目は50%、3～4週目は40%です(図4)。

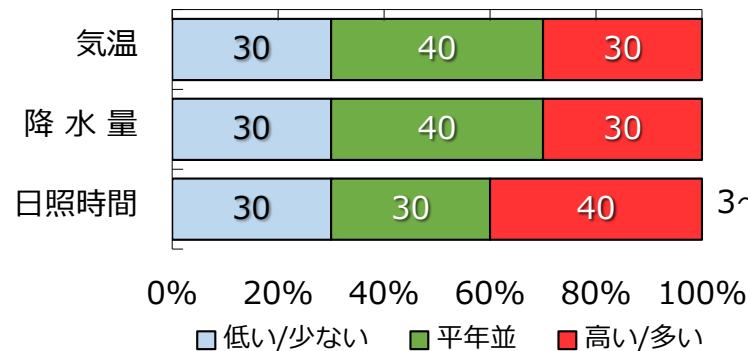


図3 向こう1か月の平均気温・降水量
・日照時間の各階級の確率 (%)

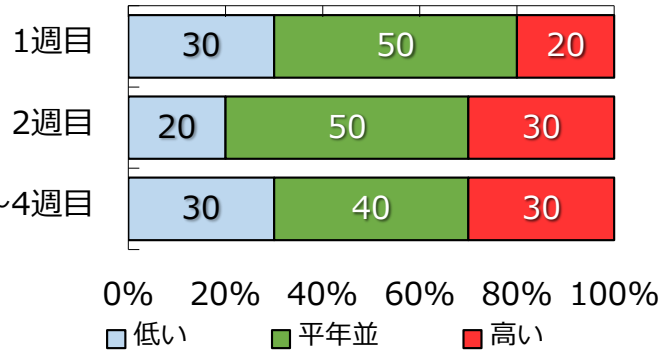


図4 向こう1か月の気温経過
の各階級の確率 (%)

- 広島県では、農薬による危害の未然防止を図るため、6月1日から8月31日までの3ヶ月間を農薬危害防止の重点期間と定め、農薬販売者及び農薬使用者に対する関係法令等の周知や農薬の適正販売、適正使用及び保管管理のさらなる周知・徹底を図ることとしています。
- 令和5年度の農薬危害防止講習会の開催場所および日程が決定しました。
- いずれの会場も、午後1時20分～4時に開催いたします。

年 月 日	時 間	場 所
令和5年6月6日(火)	午後1時20分～ 午後4時00分 ※希望者に対し、 講習会終了後、広 島県植物防疫協会 による広島県農薬 適正使用アドバイ ザーの認定試験が 行われます。	東広島市八本松町原6869 広島県立総合技術研究所農業技術センター 1F講堂
令和5年6月13日(火)		三次市十日市南1-2-18 十日市きんさいセンター 1Fホール
令和5年6月20日(火)		福山市東深津町3-2-13 備後地域地場産業振興センター 4F大会議室
令和5年6月27日(火)		呉市中通1-1-2 呉市きんろうプラザ 3F大ホール
令和5年7月4日(火)		広島市中区千田町3-7-47 広島県情報プラザ 2F第一・第二研修室

※受付は、開始30分前からです。

※東広島会場以外、駐車場はありません。

【カンキツの地帯区分について】



西部：竹原市以西の沿岸島しょ部

東部：三原市以东の沿岸島しょ部

【現況・予報の区分について】

「現況」「予報」は、「多、やや多、並、やや少、少」の5階級に区分しています。区分は、原則として過去10年間の同時期の調査結果の数値を発生が多かった順に並べ、相対比較しています。

- 「多」 : 1番目(最多年)と同程度以上
- 「やや多」 : 2～3番目と同程度
- 「並」 : 4～7番目と同程度
- 「やや少」 : 8～9番目と同程度
- 「少」 : 10番目(最少年)と同程度以下